

講義名	19-英語発音クリニック/15-発音クリニック			
担当教員	山本 勝巳			
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 4時限	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要
 最近のWorld Englishの考え方を踏まえて、知識とともに実践を交えて聞き取りと発音の両面からICTを利用した訓練を行い、受講生がそれぞれに納得できるレベルの英語発音の習得を目指します。

到達目標
 1. 発音記号が読めるようになる。
 2. 英語と日本語の音韻体系の違いが分かるようになる。
 3. 日本人学習者にとって発音が難しい音韻の発音・聞き取りができるようになる。
 4. 英語のリズム・イントネーションが表現できるようになる。
 なお、この科目は「対面型」で実施します。到達目標の達成のためには、授業形態や扱う教材等の関係上、対面型での授業が望ましいためです。「オンデマンド型」ではありませんので、時間割通りの時間帯に指定された教室で授業に参加してください。なお前週コロナウイルス感染症等の学校感染症への感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生には、期限を限定してオンデマンド型課題を提供します。

提出課題
 ・オンラインでの課題提出を求めることがあります（録音・動画を含む）。
 ・小テスト（複数回）

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
 オンラインでの提出課題について、講義中に解説を加えます。小テストについて、解答後直ちにスコア等がオンラインで確認可能。

評価の基準
 出席状況、授業中の活動状況、小テスト、および提出課題などの平常点を60%とします。定期試験の得点を40%とします。

履修にあたっての注意・助言他
 授業には積極的に参加してください。規定以上の出席欠席すると単位が認定されません。出席管理は自分で行うこと。

教科書				
.英語は朗読でうまくなる!アナウンサー直伝! 伝わる英語を話するための10のテクニック.	青谷優子	アルク	¥1,500	978-4757430280

プリント資料及び参考文献
 授業中に適宜資料を配布します。

授業計画
 1. ガイダンス
 2. 英語のアクセントとリズム・ニュース1
 3. 音声変化：ニュース2 (1)
 4. 母音の発音：ニュース2 (2)
 5. Tの発音・スピーチ (1)
 6. Lの発音・スピーチ (2)
 7. Rの発音・スピーチ (3)
 8. 長い語句のアクセント・スピーチ (4)
 9. V, TH, S/Zの発音・スピーチ (5)
 10. W, N, NGの発音・スピーチ (6)
 11. H, K, G, NGの発音・物語 (1)
 12. 長い文の読み方・物語 (2)
 13. イントネーション・物語 (3)
 14. 物語 (4)
 15. まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）			
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
 予習： 各自に指定するテキストの範囲を読み、要点をまとめておくこと（2時間程度）
 復習： 毎回の範囲の音読練習（2時間程度）を教材サイトから提出する

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
 外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」ようになるために英語発音に関する基礎的知識を身につけ、情報分析力・課題発見力を伸ばすとともに、特に経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
 教材配布・小テスト・期末試験の実施には Moodle を利用します。

実務経験の有無及び活用

備考